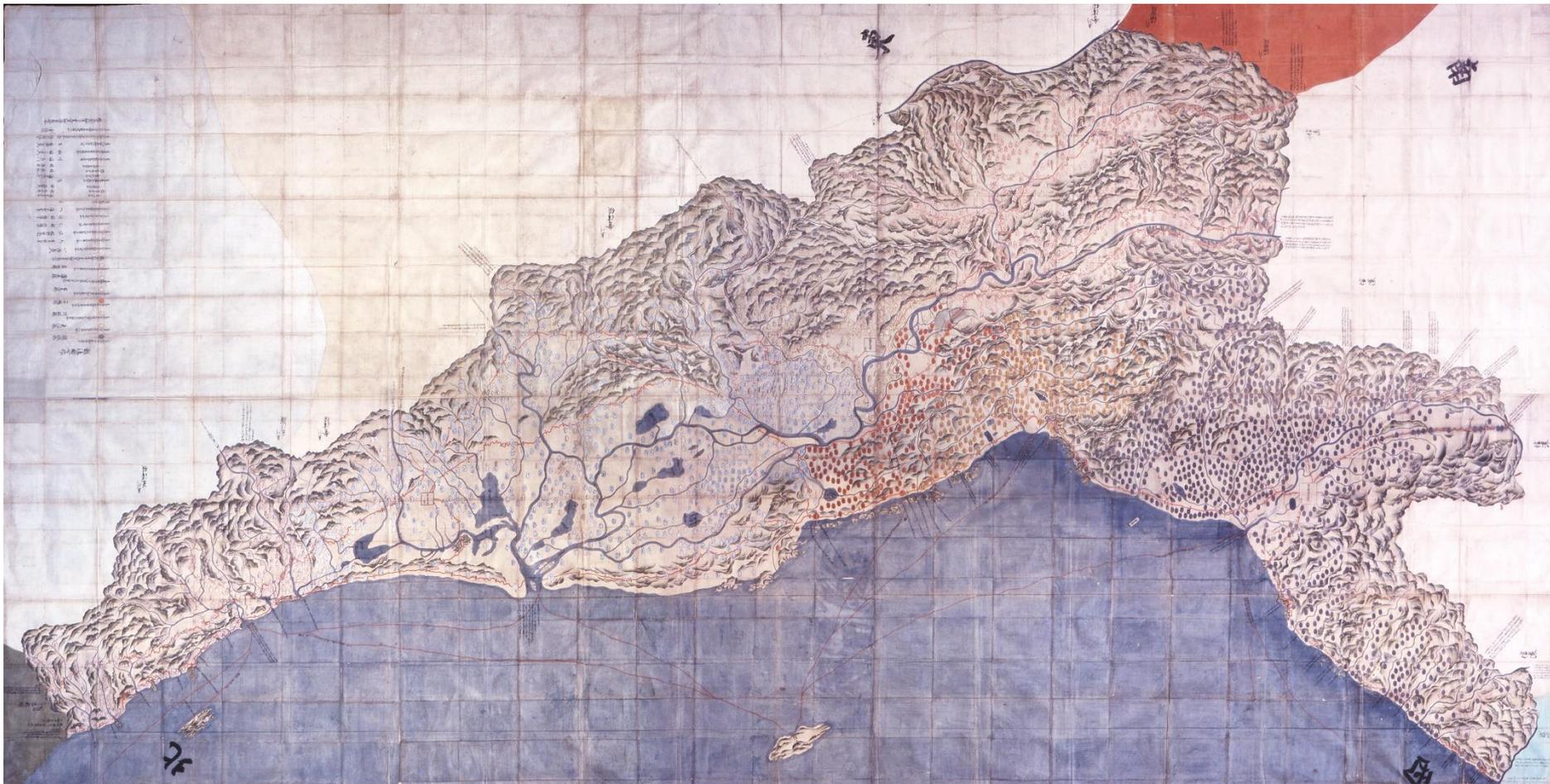


『正保越後国絵図』（レプリカ）を広げてみよう



『正保越後国絵図（元禄年間写）』（新発田市立歴史図書館所蔵）

市の歴史図書館には、江戸時代の初め頃の越後の国（現在の佐渡と東蒲原郡を除く新潟県）の様子が記録された絵図が残されています。

その大きさは、5.4×10m。

和紙を貼り合わせ、絵の具で着色されています。

越後国全体を詳細に描いた最古の絵図として新潟県指定文化財になっています。



『正保越後国絵図』の謎解き

『正保越後国絵図』にはどんな情報が記録されているの？

『正保越後国絵図』は何のために作られたのか？

『正保越後国絵図』はなんでこんなに大きいの？

『正保越後国絵図（元禄年間写）』が作られたいきさつ

三代将軍の徳川家光が、寛永21（1644）年9月に諸国の大名に対し全国68箇所すべての国絵図・郷帳（検地帳を集計したもの）・城絵図を提出するよう、指示がありました。

越後の国は複数の藩がそれぞれの領地を治めていたため、村上・新発田・長岡藩などがそれぞれの領地図を作り、高田藩（上越市）が一枚に取りまとめて、正保4（1647）年に幕府へ提出しました。

正保の国絵図を提出した約50年後の元禄10（1697）年に、新たに国絵図を作るよう幕府から指示がありました。越後の国の場合、面積が広いため2度目の絵図は北半部を村上・新発田藩、南西半部を長岡・高田藩が担当して作ることになりました。

新発田藩は元禄絵図を作るために50年前に幕府に提出した越後絵図を借り受け、写しを作って、これを参考にしながら新絵図を作成しました。

新発田藩が写し終わった正保越後国絵図は幕府へ返却し、その後江戸城の火災により、原本は焼失して現在は残っていません。このため、新発田市に残っているものが、江戸時代の初め頃（1647年）の様子を示す。唯一の絵図なのです。



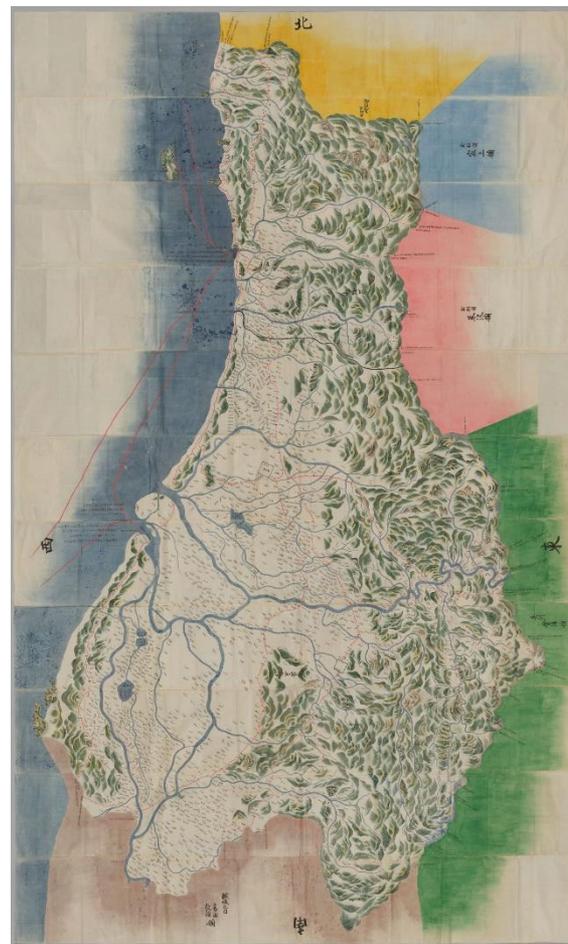
広げると、こんな感じです（生涯学習センター多目的ホール）

ほかにもあります。

越後の大型絵図



『元禄13年岩船蒲原郡絵図』
(新発田市立歴史図書館所蔵)

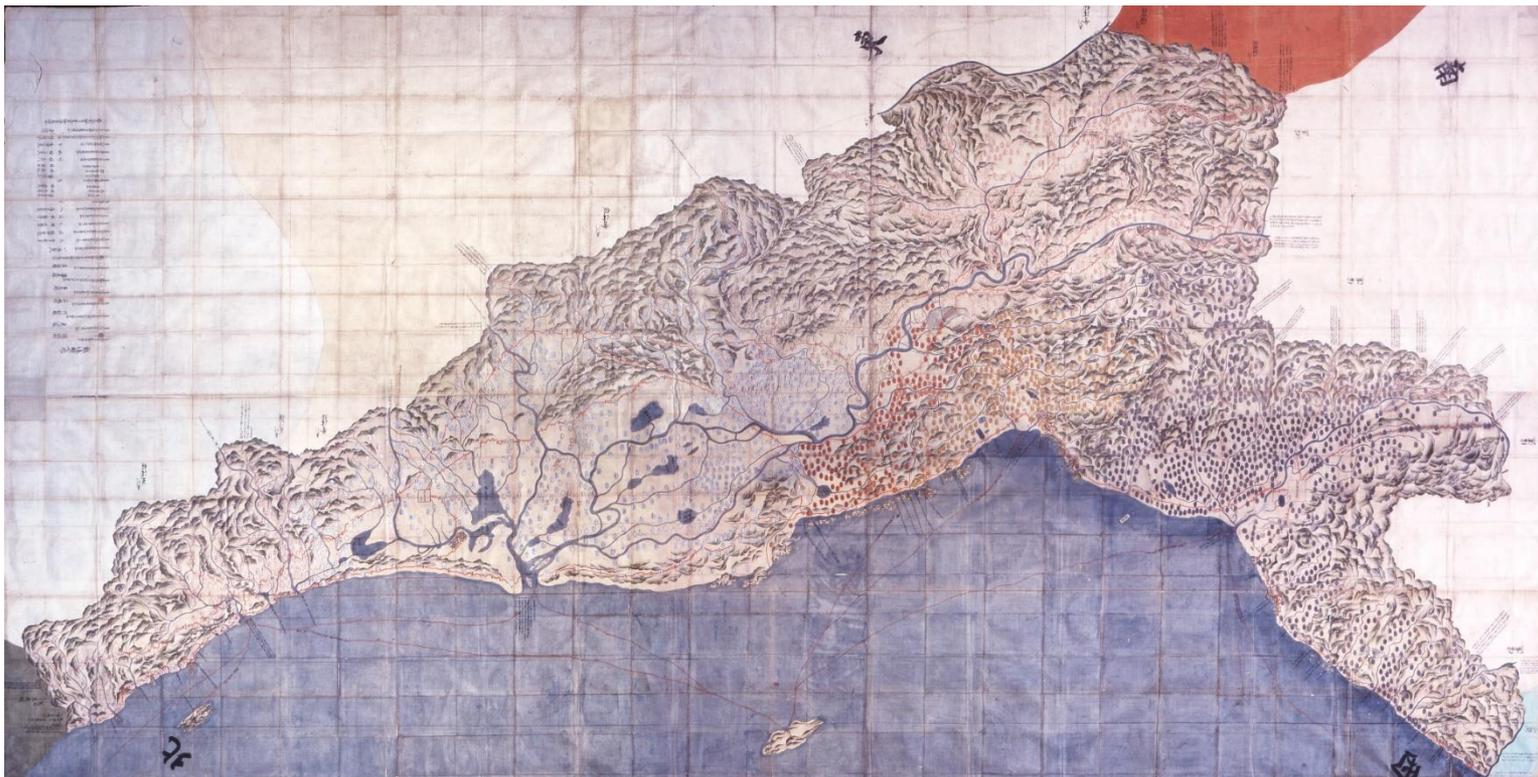


『越後国村上新発田藩領十卷絵図』
(新発田市立歴史図書館所蔵)

元禄期（1700年）に幕府に提出した絵図の控え（江戸時代中頃の下越地方の様子が描かれている）。大きさ4.11×6.77m

天保期（1837年）に幕府に提出した絵図の控え（江戸時代終わり頃の下越地方の様子が描かれている）。大きさ3.54×5.875m

布に印刷した
同じ大きさの
レプリカを作り
ました。
三つの絵図を
比べてみると
何がわかる？





『正保越後国絵図』の謎解き

『正保越後国絵図』にはどんな情報が記録されているの？

『正保越後国絵図』は何のために作られたのか？

『正保越後国絵図』はなんでこんなに大きいの？

江戸城の大広間に広げて将軍に
越後の国の概要を説明するた
めに作られた



『正保越後国絵図』の謎解き

近くによって、どんな風に描かれているのかを確認してみよう。



『正保越後国絵図』の謎解き

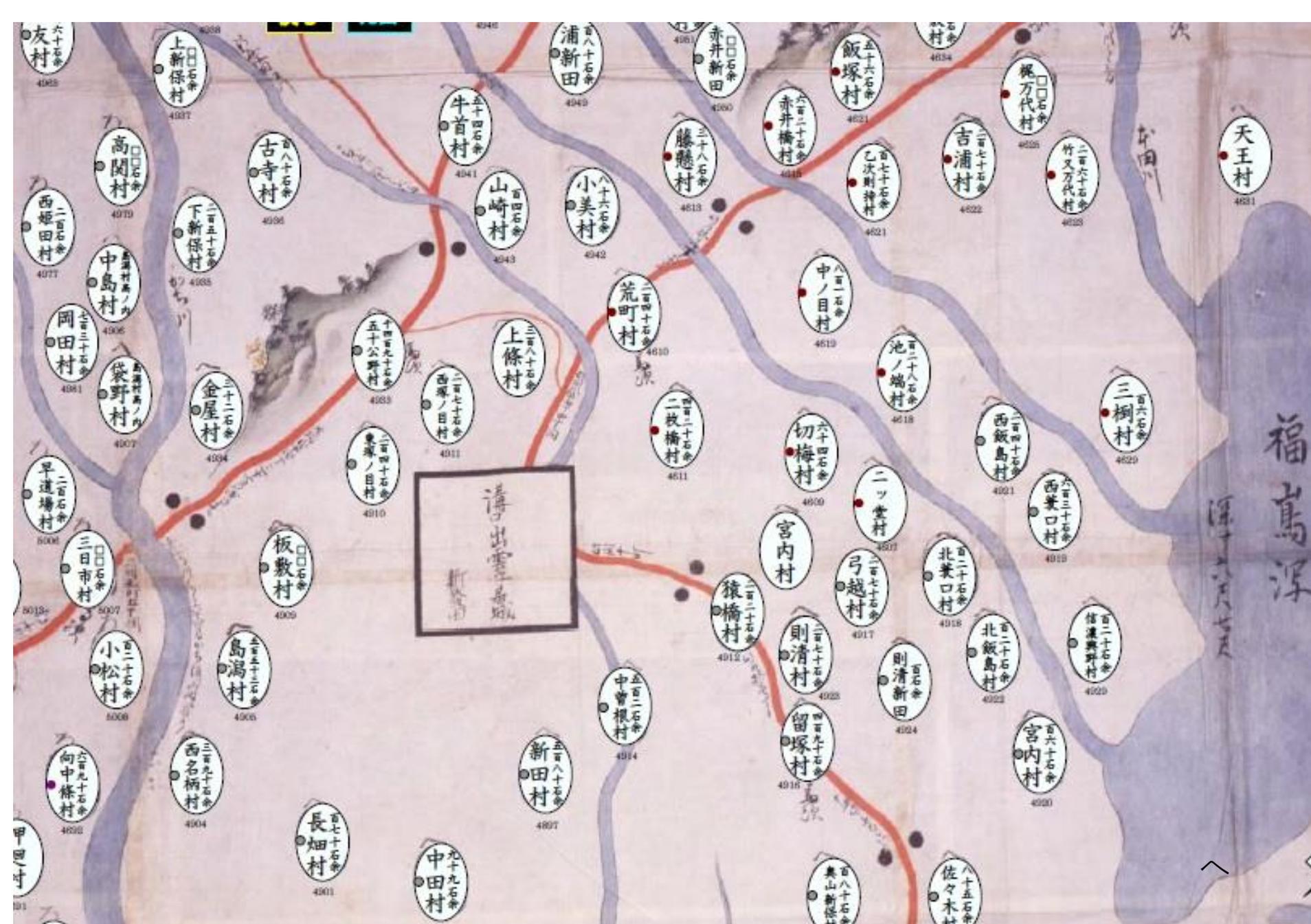
『正保越後国絵図』にはどんな情報が記録されているの？



『正保越後国絵図』の謎解き

『正保越後国絵図』にはどんな情報が記録されているの？

『村の表示を見てみよう』



『正保越後国絵図』の謎解き

『正保越後国絵図』には、どんな情報が記録されているの？



赤い線は街道、等間隔の黒い二つの点は一里塚、海上の赤い線は航路。山は緑。川と瀧は青。城のある町は四角。越後の国なのに東蒲原郡が描かれていないのは、会津藩の領地だったため

新潟港で信濃川と阿賀野川の河口が合流している。加治川も阿賀野川に合流している。長岡から新発田のあたりに湖（瀧）が沢山ある。



正保絵図には入っていない東蒲原郡（会津領）が描かれている。

村の数（赤丸）の数が増えている。（新田村の増加）



川の流路が変更されている。阿賀野川の新しい河口。落掘川・新川の開削

村の数がさらに増えている。（干拓後の紫雲寺潟・信濃川中流域の潟の減少）



金山を探せ

金山を探せ



古城ってなんのこと?

川の立体交差?